

25mダブル連結トラック 通行経路拡大計画



2019年 6月27日

福山通運株式会社

目次

1. はじめに
2. ダブル連結トラックの概要
3. ダブル連結トラックの導入理由
4. ダブル連結トラックの運行実績(2018年度)
5. ダブル連結トラックの運行計画
6. ダブル連結トラックの運行計画店所と最寄りIC
7. ダブル連結トラックの最寄りICから運行店所のルート
8. 最後に



1. はじめに

平素は、福山通運株式会社グループの業務にご理解を頂き、誠に有難う御座います。御礼申し上げます。

今後も安全を最優先し、無事故や無違反を目指して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

今回は、日本で初めて25mダブル連結トラックを2017年10月より運行を開始しました実証実験が、2019年1月29日に本格導入となりました。

昨今、運転手不足が加速していく中、輸送力確保の為に、更にダブル連結トラックを増車し、輸送手段の拡大を考えております。

日本初となる25mフルトレーラーの出発式
(2017年10月16日)



2. 福山通運株式会社のダブル連結トラックの概要

【ダブル連結トラック保有台数】

21mダブル連結トラック:トラクター(前)1台・フルトレーラー(後)2台
 25mダブル連結トラック:トラクター(前)1台・フルトレーラー(後)1台

フルトラクター:いすゞ自動車株式会社製作
 フルトレーラー:日本トレクス株式会社製作

【ダブル連結トラックの詳細】

フルトレーラーの積載量 と積載容積比較	前(フルトラクター)		後(フルトレーラー)		合計最大積載量	合計荷室容積
	最大積載量	荷室容積	最大積載量	荷室容積		
21mフルトレーラー	12,500kg	57.7m ³	12,100kg	46.1m ³	25,000kg	103.8m ³
25mフルトレーラー	12,900kg	61.0m ³	11,100kg	65.1m ³	24,000kg	126.1m ³

【ダブル連結トラック走行状況】

- ①21mダブル連結トラック(フルトレーラーは名古屋—裾野間)
 往路:名古屋→裾野(切離)→相模原
 復路:相模原→裾野(連結)→豊橋(切離・連結)→名古屋
- ②25mダブル連結トラック(フルトレーラーは名古屋—裾野間)
 往路:名古屋→裾野(切離)→相模原
 復路:相模原→裾野(連結)→名古屋

名古屋⇔裾野 268km



3. 福山通運株式会社のダブル連結トラック導入理由

【運転手一人当りの生産性向上と輸送能力拡大】

<背景>

日本の総人口は、2005年を境に減少局面になり、今後更に人口減少が進み、2045年には1億人程度になる見通し。少子高齢化が急速に進行しており、2050年には総人口の約40%が65歳以上になる見通しとされています。

運輸業界においても、人口と比例した状況が迫りくる中、輸送手段の確保が重要になってくるものと考えます。運転手の確保が困難であるため、モーダルシフトの拡大・スワップボディの大量導入・荷役分離したセミトレーラー輸送の拡大・ダブル連結トラックの大量導入が策として考えられます。

最大積載量

大型車の最大積載量 12,500kg

21mフルトレーラーの合計最大積載量 25,000kg 大型車の2.00倍

25mフルトレーラーの合計最大積載量 24,000kg 大型車の1.92倍

最大積載容積

大型車両の最大容積量 62.7m³

21mフルトレーラーの合計最大積載量 103.8m³ 大型車の1.66倍

25mフルトレーラーの合計最大積載量 126.1m³ 大型車の2.01倍



名古屋⇔裾野 268km

4. ダブル連結トラック運行実績

2018年度実績

①21mダブル連結トラック(運行開始2017年3月17日)

運行日数 232日

輸送重量 4,243,629kg

1運行 18,292kg積載

運行ルート <往路>名古屋⇒裾野(切離)⇒相模原

<復路>相模原⇒裾野(連結)⇒名古屋

2018年5月30日より

相模原⇒裾野(連結)⇒豊橋(切離・連結)⇒名古屋

831日無事故運行継続中

②25mダブル連結トラック(運行開始2017年10月16日)

運行日数 235日

輸送重量 4,308,723kg

1運行 18,335kg積載

運行ルート <往路>名古屋⇒裾野(切離)⇒相模原

<復路>相模原⇒裾野(連結)⇒名古屋

618日無事故運行継続中



名古屋⇔裾野 268km

5. ダブル連結トラック運行計画

現在の25mダブル連結トラック走行条件は、総走行距離のうち新東名高速の走行が50%以上

走行条件の拡大へ

- ① 栃木—北上
- ② 名古屋—広島流通センター
- ③ 広島流通センター—下関
- ④ 名古屋—栃木
- ⑥ 名古屋—裾野(東名高速)

② 名古屋⇔広島流通センター 555km
(名神高速・新名神高速・山陽自動車道)

③ 広島流通センター⇔下関 213km
(山陽自動車道)

① 栃木⇔北上 448km
東北自動車道

④ 名古屋⇔栃木 470km
(新東名高速・圏央道・東北道)

現行コース
名古屋⇔裾野

⑤ 名古屋⇔裾野 268km
(東名高速)

6. ダブル連結トラック運行計画の店所所在地と最寄りインター

- ①北上支店(岩手県北上市相去町館下1-3)⇔北上金ヶ崎IC(東北道) 2.5km
- ②栃木支店(栃木県栃木市藤岡町太田1112-2)⇔佐野藤岡IC(東北道) 3.0km
- ③名古屋支店(愛知県北名古屋市中之郷八反38)⇔小牧IC(東名高速) 11.8km・一宮IC(名神高速) 3.8km
- ④広島流通センター(広島県広島市安佐南区伴南2-1-19)⇔広島西風新都IC(広島道) 3.4km
- ⑤下関支店(山口県下関市棕野町2-18-1)⇔下関IC(山陽道) 826m

- ⑥裾野営業所(静岡県裾野市下和田57-10)⇔裾野IC(東名高速) 2.6km(現在運行区間)

* 距離の算出は、インターネットの検索より



7. 最寄りICからの運行店所までのルート①

栃木支店⇔北上支店 448km

【東北自動車道を利用したコース】

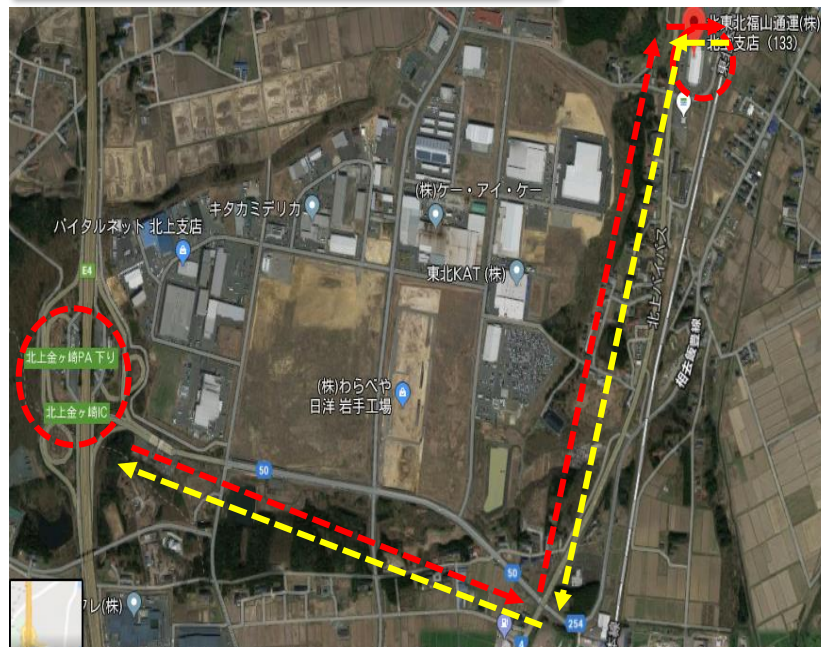
佐野藤岡IC～栃木支店間のルート



【一般道使用距離】

・佐野藤岡IC—国道50号線—栃木支店 3.1km

北上金ヶ崎IC～北上支店間のルート



【一般道使用距離】

・北上金ヶ崎IC—岩手県道50号線—<北上金ヶ崎IC口>
 (左折)国道4号線—北上支店 2.7km

7. 最寄りICからの運行店所までのルート②

広島流通センター⇔下関支店 213km

【山陽自動車道を利用したコース】

広島西風新都IC～広島流通センター間のルート



【一般道使用距離】

・広島西風新都IC—市道206号—市道205号—市道208号—市道283号—広島流通センター
3.4km

下関IC～下関支店間のルート



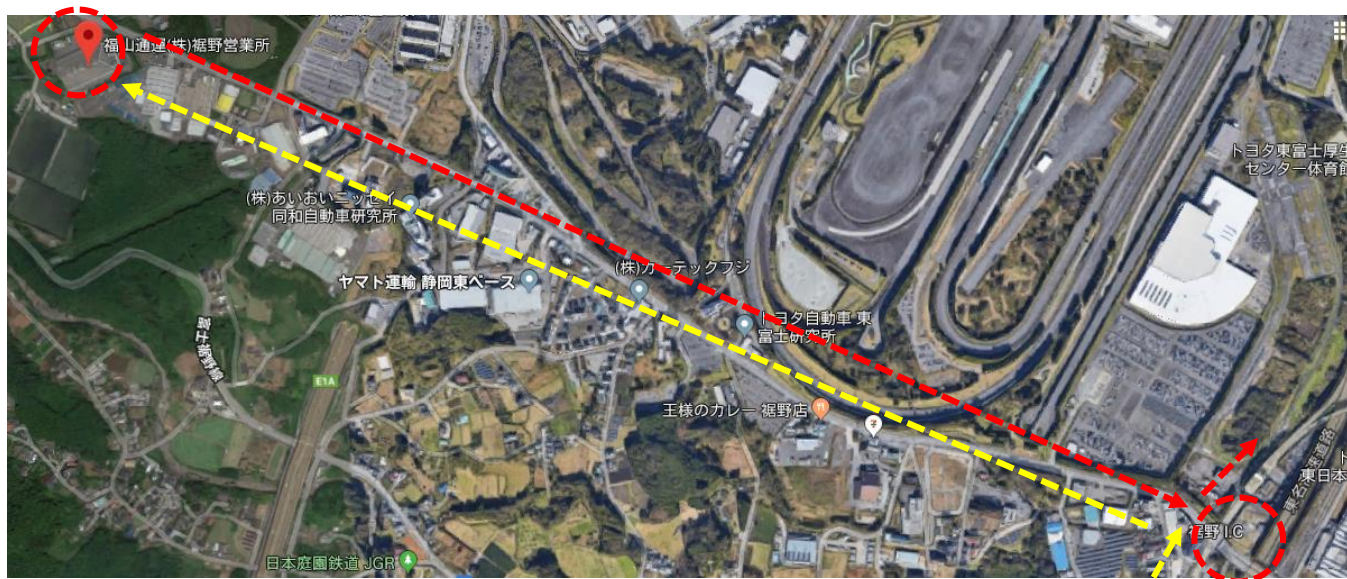
【一般道使用距離】

・下関IC—県道57号—下関支店 826m

7. 最寄りICからの運行店所までのルート③

名古屋支店—裾野営業所 286km 【新東名と東名高速を利用したコース】

裾野IC～裾野営業所間のルート



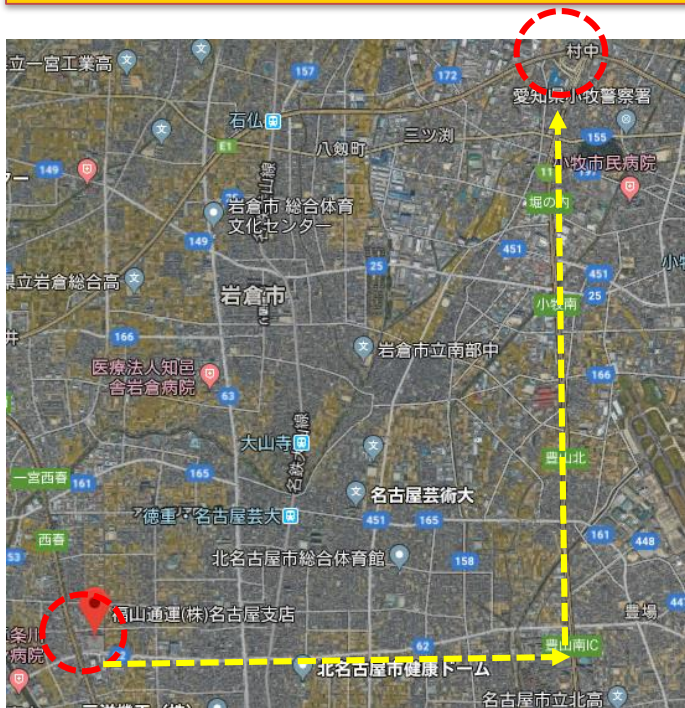
【一般道使用距離】

・裾野IC —市道1—13号線—裾野営業所 2.6km

7. 最寄りICからの運行店所までのルート④

名古屋支店—裾野営業所 286km 【新東名・東名高速を利用したコース】

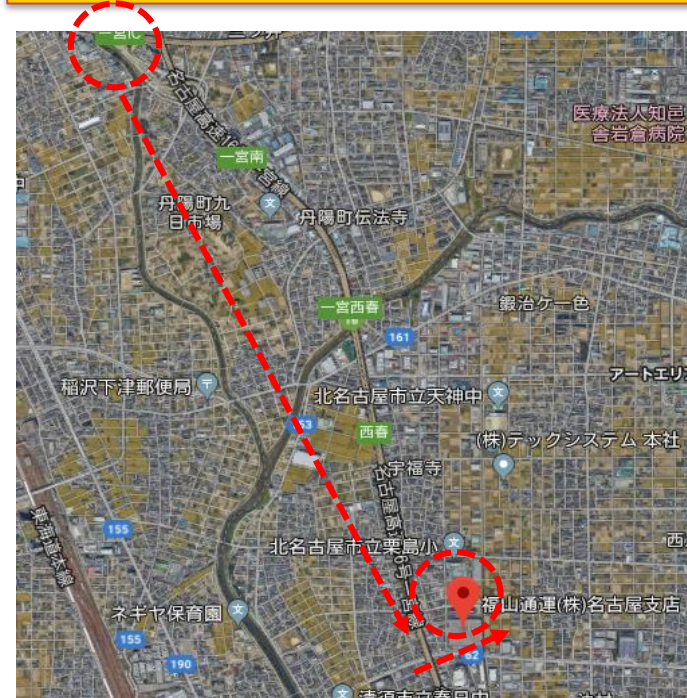
名古屋支店～小牧IC間のルート(出発時)



【一般道使用距離】

・名古屋支店—県道62号線—国道41号線—小牧IC
11.8km

一宮IC～名古屋支店間のルート(到着時)



【一般道使用距離】

・一宮IC—国道22号線—県道62号線—名古屋支店
3.1km

8. 最後に

25mダブル連結トラックのメリットは、『切離と連結』を効率よく行うことと考えております。今後とも、ダブル連結トラックの先駆として、安全第一に運行して参りますので、走行エリア拡大のご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。

本日はありがとう御座いました。

